

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年12月18日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172900862		
法人名	有限会社 シェナリゾート		
事業所名	グループホーム「ことぶき」		
所在地	旭川市3条通2丁目1973番地10 (電話) 0166-31-1165		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年12月16日	評価確定日	平成21年12月21日

## 【情報提供票より】(平成21年12月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年2月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	19人	常勤	13人, 非常勤 6人, 常勤換算 11.7人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建ての	1~2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000円	その他の経費(月額)	18,000~24,000円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,315円		

### (4) 利用者の概要(12月1日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	9名	要介護2	1名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	3名	要支援2	1名		
年齢	平均 82歳	最低	61歳	最高	90歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	木原循環器科内科医院 たかがき歯科医院
---------	---------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

日常生活を通じた近隣住民との交流や市民委員会の運動会、盆踊り等の行事参加、町内会の親睦会参加等地域との連携した活動が特に多く地元の人々との協力体制が構築されている2ユニットのグループホームです。一人ひとりの思いや希望に沿って、大正琴のコンサートに出かけたり、弁当持参の秋の遠足、ラーメンの日や寿司の日での外食、永山新川での白鳥見物、イチゴ狩りやブドウ狩り、花見や紅葉見物等戸外に出かける機会も多く作られています。また、職員と一緒にしておしるこや栗まんじゅう、かぼちゃ団子などのおやつ作りを楽しんで喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている様子が伺えます。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、職員の離職や異動の際に家族への情報提供が改善点として挙げられていましたが、この一年間職員の離職、異動が全くなく本人との馴染みの関係が築かれていました。また、離職等発生した場合には、定期的に発行される通信で記事を掲載するようになっていきます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 評価を実施する意義を管理者及び職員は理解しており、自己評価は新たな気づきや改善の機会として具体的に利用されています。また、外部評価の結果は、運営推進会議に報告され、意見交換されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年6回以上開催され、主な議題は 自衛消防訓練(利用者の避難誘導) 災害時、緊急時対応について 消火器の使用訓練 非常時の職員対応、行動計画等 緊急時対応について市の専門職員からの指導、助言等を得た具体的な取り組みの実践が行われています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 玄関入り口付近に「意見箱」を設置して、家族や来訪者等が意見や苦情を言い表せる機会を設けています。また、家族会、運営推進会議を通じて意見交換が行われていると共に家族と職員の親睦会・食事を開催して不安な点や要望など気軽に話し合われる機会を設け、そこでの意見を職員間で話し合われ運営に反映できるようになっています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 市民委員会や町内会との連携・協力体制が良く実施されています。また、ホーム主催の「夏祭り」では地元の人々や他施設の職員、ボランティアが参加して行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。災害時や緊急時には、近隣住民や町内会の人達の協力体制も構築されています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、「・・・寄り添い、地域社会と交流・・・」の事業所独自の理念をつくりあげ実践している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は、毎日のミーティングを通じて話し合い理念を共有し、その実践に向けて日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	市民委員会や町内会との連携・協力体制が良く実施されている。また、ホーム主催の「夏祭り」では地元の人々や他施設の職員、ボランティアが参加して行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいる。災害時や緊急時には、近隣住民や町内会の人達の協力体制も構築されている。		特筆すべき点として、日常生活を通じた近隣住民との交流や市民委員会の運動会、盆踊り等の行事参加、町内会の親睦会参加等地域との連携した活動が特に多く地元の人々との協力体制が構築されている。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を実施する意義を管理者及び職員は理解しており、自己評価は新たな気づきや改善の機会として具体的に利用されている。また、外部評価の結果は、運営推進会議に報告され、意見交換されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、年6回以上開催されている。委員は、利用者、家族、町内会役員、他施設の介護支援専門員、施設長及び管理者・職員で構成され具体的に取組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市、保健所、包括支援センター主催の研修会参加や情報交換等でケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ことぶきタイムス「福寿草」を季節毎に発行して、日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子等定期的に家族に報告している。また、家族と職員の親睦会・食事会を開催して不安な点や要望など気軽に話し合われる機会を設けている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関入り口付近に「意見箱」を設置して、家族や来訪者等が意見や苦情を言い表せる機会を設けている。また、家族会、運営推進会議を通じて意見交換が行われ運営に反映できるようになっている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>本年は、職員の離職や異動は無い。また、職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>市主催や包括支援センターの研修会参加、グループホーム協議会やケア研究会などの外部の研修参加を積極的に奨励し、報告会で職員間の共有が行われている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の同業者との交流やグループホーム協議会、ケア研究会での交流が行われサービスの質の向上に取り組まれている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員と一緒にしておしるこや栗まんじゅう、かぼちゃ団子などのおやつ作りを楽しんで喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや希望に沿って、大正琴のコンサートに出かけたり、弁当持参の秋の遠足、ラーメンの日や寿司の日での外食、永山新川での白鳥見物、イチゴ狩りやブドウ狩り等参加など本人本位に検討している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報やカンファレンスで職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		介護計画のサービス提供内容に基づいた支援が実施されています。今後は、その実施内容に基づいた記録の工夫を期待します。
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、買い物やお墓参り、通院の支援や理美容院への送迎など柔軟に支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切にし、かかりつけ医との連携で適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から協力医療機関と連携して利用者・家族とも段階的に繰り返し相談しながら慎重に対応するよう職員間で共有されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した言葉かけや支援をしている。また、記録等の個人情報の扱いは、配慮された取り組みをしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの希望やペースを大切にし、おやつ作りや食事の準備、散歩や買い物、ラーメンや寿司等の外食など本人の希望に沿った支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、食事の準備やおしぼりの用意など支援をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回を目安に入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かしながら観葉植物の水遣りや畑での野菜の収穫、おやつ作りや漬物付け等一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	大正琴のコンサートに出かけたり、弁当持参の秋の遠足、ラーメンの日や寿司の日での外食、永山新川での白鳥見物、イチゴ狩りやブドウ狩り、花見や紅葉見物等戸外に出かける機会も多く作られている。		特筆すべき点として、日常的に外出の機会が多くつくられ気分転換や気晴らしの支援が行われている。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急時対応について市の専門職員からの指導、助言等を得た具体的な取り組みの実践が行われている。また、近隣住民の協力体制も構築されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食べる量や栄養バランス、水分・食事摂取量が把握され、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間では、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、階段を利用して歩行訓練や夏祭り、白鳥見物、外食等の行事参加の写真が飾られ居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、クローゼットや収納スペースも用意され広く清潔感が感じられる。また、家族や行事参加の写真が飾られたり、使い慣れた家具などが持ち込まれ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。